

## ●REPA 総会・講演会・懇親会（2018-6-23）

6月2日(土)13時15分から千代田区一番町区民集会室にてNPO法人再生可能エネルギー推進協会第13回定時総会が開催され、第1号議案:平成29年度事業報告、第2号議案:平成29年度決算報告の審議がなされ満場一致で承認されました。また報告事項として平成30年度事業計画、平成30年度活動予算の説明が行われ総会は滞りなく無事終了しました。



尾園代表理事 挨拶



保坂理事 事業報告



小野理事 会計監査報告

総会に引き続き14時半からの講演会では下記3講演がなされ、多数の参加で活発な質疑がなされました。

講演1 本阿弥 眞治様 東京理科大学名誉教授

「持続的社會における熱機関の将来」

講演2 山田 宏之 様 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

新エネルギー部 太陽光発電グループ 主任研究員

「太陽光発電システムの技術動向」

講演3 吉野 正人 様 株式会社東芝 研究開発本部 電力・社会システム技術開発センター

次世代エネルギー技術開発推進室

「水素社會の実現に向けた取り組み ―水素製造と利用―」



本阿弥 眞治様 講演



山田 宏之 様 講演



吉野 正人 様 講演

また講演会後近くのレストランにて懇親会が開催され講師を囲み和やかに行われました。

●地域のエネルギー・環境問題を解決し、地域を活性化するメタン発酵システム—メタン発酵技術のメッカをめざす霊山モデル— (2018-6-23)



霊山(りょうぜん)は、伊達市と相馬市との境にそびえる標高 825 メートルの山です。国の名勝、日本百景、およびつくしま百名山に指定されています。また、南北朝時代の重要な城跡遺構として国の史跡にも指定されています。この山のみもとには、メタン発酵マイスターMethane Fermentation Meister: MFM がいます。

その MFM の指導の下に、私たち NPO 法人再生可能エネルギー推進協会のメンバーと地元霊山の有志(霊山プロジェクト)が、協力して地域密着型メタン発酵システム(霊山モデル)の実験を 2012 年から進めております。

●伊豆町稲取での「復興支援マルシェ」(2018-6-23)



東伊豆町稲取の清光院境内で開催された

「復興支援マルシェ」に当協会「霊山プロジェクト」地元代表の大沼夫妻が参加し、地元の竹を用いた竹炭や霊山漬などの特産品の販売を行いました。

清光院住職の菅原さんは「震災の記憶を風化させないため持続的な活動」をコンセプトして、毎年被災地の支援や清光院境内での復興マルシェの開催など精力的に活動されており、昨年 8 月以来地元「霊山プロジェクト」に復興マルシェの収益の一部を寄付していただいています。なお、この時の模様は、3 月 13 日の東京新聞静岡版に掲載されました。

菅原住職と大沼地元代表 清光院フェイスブックより